

# 隠岐島地域ビジョンについて(概要版)

## 隠岐島地域の特徴・現状・課題

### 【特徴】

自然の海岸景観や山岳地だけでなく、牧野景観を伝統的景観として評価した国立公園

- 傑出した自然風景  
日本海がつくりだした世界に誇る海岸風景
- 豊かな生物多様性  
海によって隔離された大地で育まれた特徴的な生態系
- 人々の暮らし  
神話の時代からつづく、島の自然環境を活かした文化

### 【現状・課題】

- 隠岐の自然環境等の価値についての認知不足  
(隠岐の魅力が知られていない、自然環境の希少性の認知度が低い)
- 国立公園計画の見直しの必要性  
(固有の生態系がある陸域や豊かな藻場が広がる海域の見直し)
- 保護地域の管理不足  
(漂着ゴミ、磯焼け、松枯れ、外来生物の増加、希少種の減少)
- 利用者数の低下 (冬季利用や市場ニーズへの対応不足)
- 魅力的な自然体験の提供不足
- 快適な利用環境の整備・管理の不足  
(老朽化、ユニバーサルデザイン対応、自然体験利用に対応した施設整備)
- 活動主体間、島間の連携不足  
(個々の活動主体間、島間の情報共有が不足)

## 理念

### 隠岐の海がはぐくむ自然と人の営みの調和

- 海から吹く季節風と波の浸食作用によって美しい海岸風景が形作られ、海に隔てられた大地に独自の生態系が成立。また、人々は豊かな海の恵みを受けて生活し、牧畑のような限られた資源を持続的に活用する知恵と文化を生み出した。このように、豊かな海によって育まれた人と自然が調和した風景が、隠岐の国立公園の特徴
- 国立公園は、海を中心として自然風景や独自の生態系を保全し、持続的な人の営みを維持することで、豊かな海が育ててきた人と自然が調和した風景を次世代に継承していく場。
- 基本理念の達成に向けて、隠岐の自然や文化に親しみ、その価値や重要性を理解し、主体的に活動していける人材の育成と国立公園の関係者が円滑に協働できる体制を整えていく。

## 基本方針・対策の方向性

基本方針	<b>隠岐らしさを知る</b> 隠岐らしい風景の魅力を知る取組、及びそれを関係者間で共有する取組を推進	基本方針	<b>隠岐らしさを守る</b> 隠岐らしい風景を保全し、様々な主体が行っている隠岐らしい風景を維持する取組を積極的に支援
対策の方向性	・フィールドワークや座学などの実施 ・環境教育プログラムの作成等、体験型教育の推進 ・公民館や自治会、ジオパーク等で行われている既存のイベントや活動への出席・協力 ・国立公園の価値や魅力を解説するパンフレットやホームページの充実 など	対策の方向性	・現況を踏まえた公園計画の見直し (ジオパークに関する地形・地質や陸域生態系、自然と深く関係した文化景観、海域の整理と評価) ・保護地域の適正な管理 (各活動の整理とネットワーク化、国立公園の自然環境等の現状調査、オオキンケイギクの防除や海岸漂着ゴミ対策など)
基本方針	<b>隠岐らしさを活かす</b> 隠岐の「ほんもの」体験を提供する質の高いエコツーリズムの取組を推進	基本方針	<b>隠岐らしさを引き継ぐ</b> 隠岐の優れた自然環境を後世に引き継ぐ人材を育成し隠岐4町村がまとまった協働体制を構築
対策の方向性	・隠岐の魅力を深く知るためのエコツアーの現状把握調査と質の高いプログラムの開発 ・隠岐4町村、同一の国立公園内地域との広域連携 ・ガイドの育成 ・トレッキングルート等の体験型利用に対応できる施設整備 ほか	対策の方向性	・協働管理体制の構築に向けた3つのステージによる段階的な取組の推進 ・隠岐世界ジオパークとの連携強化 ・環境教育(学校教育・社会教育)の推進

**ステージ1 テーマ:隠岐を知る**  
 自然観察会等を通して様々な人と知り合い、メーリングリスト等でつながる

**ステージ2 テーマ:島でつながる**  
 個別のテーマに対して、島前・島後それぞれで情報交換会を設置

**ステージ3 テーマ:島をつなぐ**  
 国立公園の方針や課題解決に向けた、隠岐4島の協議会を設置

将来目標 : 隠岐地域の多様な主体が参画した協働体制を確立